

2026年5月10日

課題名：術後心電図同期 CT を用いた偽腔面積変動による急性大動脈解離術後の大動脈拡大予測

◆研究の目的と概要◆

当院では、急性大動脈解離術後の残存解離の長期成績を調べています。本研究では、長期経過で血管が拡大するリスク評価の精度をあげ、今後のよりよい診療を行うことを目的としています。

◆対象となる患者さん◆

2018年9月から、2024年12月までの間に、急性大動脈解離であると診断され手術を施行された方の中で、残存解離があり偽腔が開存している患者さん。

◆研究に使用される情報・試料◆〔

性別、年齢、身長、体重、合併症、既往歴、現病歴、前治療、手術内容、術前後 CT における画像所見、術後の治療経過、2026年4月時点でご存命かどうか、逝去されていた場合の原因

◆試料・情報の研究利用開始日◆

2026年6月15日以降

◆研究方法◆

本研究は過去の診療録（カルテ）等からの情報、すでに施行した血液検査、CT 検査結果を利用します。

- 
- \* 研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる情報は利用しません。
  - \* 本研究に関するお問い合わせや、カルテ情報の利用についてご了承いただけない場合、以下の問い合わせ先までメールでご連絡ください。ただし、解析中または、既に学会等で発表されたデータについては、削除できないことがありますことをご了承ください。

【問い合わせ先】

公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院  
心臓血管外科 研究責任者 高内 拓海

E-mail: kenkyu★kchnet.or.jp（臨床研究センター）  
（★を@に変換して使用してください）

この研究課題で利用する残余検体・診療情報等の利用については、医の倫理委員会によって当該既存試料を用いなければ研究の実施が困難であるとの理由が認められ、倫理的観点及び科学的観点から実施についての承認、また当院院長の許可が得られています。

※【問い合わせ先】では、次の事項について受け付けています。

- 研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧（又は入手）ならびにその方法（他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。）
- 研究対象者の個人情報についての開示およびその手続
- 研究対象者の個人情報についての利用目的の通知
- 研究対象者の個人情報の開示、訂正等、利用停止等について、請求に応じられない場合にはその理由の説明